



やまじ さゆり  
山路 小百合



しみん  
市民クラブ

### 緊急時のホームページをより分かりやすく

**問** 津市の緊急時のホームページにおいて、新型コロナウイルスの情報や、平成30年の台風情報も国や県と比べて随分と遅かった。

見出しも、一目瞭然で暮らしに即した、リアルな分かりやすい情報にすべきではないか。

ホームページ情報は、市民の声を反映し、解決へと導く内容であり、かつスピード感をもって更新されるべきではないか。

### さらに見やすいホームページを目指す

**答** 新型コロナウイルス対策については、市民の皆さまの関心が高いところなので、掲載した情報が簡単でスムーズに見られるよう、さらに工夫していく。

災害対策本部の情報は、ホームページ上部に緊急情報欄を設け、一目で確認できるようにしている。スマートフォン版についても同様に、市民の皆さまに素早く確認できるようにしている。市内で大規模停電が発生した際は、停電情報サイトへのリンクを設けるなど、緊急的な対応を行った。

今後も、このような市民の皆さまの声を聴き、要望に即したインフラに関わる情報等の掲載に対し、柔軟に対応していく。

### ●その他の質疑・質問●

- ひとり親家庭子育て支援、保育所利用相談対応について
- SNSでの情報発信について
- 災害時の避難所の衛生対策について
- 認知症施策の現状について
- 集会所の取得について
- 津インターチェンジ周辺の土地計画について



▲津市HP、以前はトップページに新型コロナ情報掲示無し



あづみ  
安積 むつみ



こうめいとうぎいんだん  
公明党議員団

### 多胎妊産婦サポーター事業の考えは

**問** 育児は思うに任せないことの連続で、多胎児を育てる保護者の負担はどれほど大きいのか。そこで、負担軽減を図る多胎児家庭に特化した国の支援策が初めて出された。津市は交流会や相談事業は既に実施しているが、育児サポーターを多胎児家庭のもとへ派遣し、日常育児に関する介助を行うサポート事業はない。国の新事業を活用し、切実なSOSに応える支援の考えは。

### 国からの情報を得て、事業の実施を検討する

**答** 多胎妊産婦サポーター事業は、多胎に関する研修を受けた育児サポーターを多胎家庭のもとに派遣して、外出時の補助や日常の育児に関する介助、日常生活における不安などの相談に対応するものである。

こうした介助や相談などに対応可能なサポーターの人材確保や体制整備の必要があることから、直ちに事業を始めるには課題が多いと考える。

今後とも、しっかり国からの情報を得る中で、多胎妊産婦サポーター事業について検討していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 新生児聴覚検査の公費助成を
- ひとり親家庭のサポート（養育費立替事業、面会交流支援）
- 気候変動対策の市民啓発は
- 新型コロナウイルス感染症に関する市の対応について
  - 感染が疑われた時の行動と相談窓口の明確化は
  - 衛生資材の行政備蓄の提供は
  - 市民に分かりやすい情報の周知、啓発について など



▲～離婚後の養育費の支払いと面会交流の実現に向けて～